

聖書箇所：ネヘミヤ記6章1~16節

「私を力づけてください」

【1】 城壁再建に対する数々の妨害

- ① 嘲笑 (ネヘミヤ4:1~3)
 - ② 陰謀 (ネヘミヤ4:7~8,11)
 - ③ 個人を標的にした妨害 (ネヘミヤ6:2~14)
 - 繰り返される会見への招き
 - ネヘミヤが逃げ回っている印象を周囲に与える効果
 - ④ 脅迫状
 - 開封の手紙
 - 一人々の心を揺さぶり、ペルシャ王の不信を引き出す目的 (参照イサ4:24)
- ・ 神を見上げたネヘミヤ「ああ、今、どうか私を力づけてください。」 (ネヘミヤ6:9b)
- ⑤ 偽預言者
 - ネヘミヤの身の安全を心配しているかのような言動
- ・ 危機に際してネヘミヤは神を見上げて落ち着いて対処
 - 「私に分かった」 (ネヘミヤ6:12) : 明らかでないことを調べて正しい判断をするという意味(参照創世記31:32,37:32)
- ・ ネヘミヤが偽りを見抜き正しい判断ができた理由

【2】 神によってなされたこと

- ・ 52日間という短い期間で完成の日を迎えた城壁再建
 - 全ての者の目に「神によってなされたこと」 (ネヘミヤ6:16) と映った
- ・ 「神によってなされたこと」 = 信仰者の日々の応答に深く関与
- ・ キリストのからだなる教会が建て上げられ成長するということ
 - 石を一つ一つ積み上げていくように (参照1ペテロ2:5)
- ・ 涙の中を通ることもある
 - 人間の罪の問題と不完全さに直面するが、教会はキリストの教会であり「神によって」建て上げられる

▷ 「ああ、今、どうか私を力づけてください」と祈ることもあるでしょう。そこにこそ、主に仕える者が経験する喜びがあるのです。

